

平成27年度第5回公立大学法人熊本県立大学経営会議
議 事 録

- 1 日 時：平成27年12月22日（火）午後1時30分～午後2時50分
場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室
出 席：理事長 五百旗頭真
副理事長（学長）古賀 実
理事（事務局長）仁木 徳子
理事 小栗宏夫※
委員 石原靖也
委員 関 幸枝
委員 丸本文紀
委員 中村博生※

※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

欠 席：なし。

事務局：高山次長、花村企画調整室長、福永総務課長、元島教務入試課長、
福島地域連携・研究推進センター事務長、坂本学術情報メディアセン
ター事務長、山瀬総務課総務班長、山田企画調整室参事

2 開会（進行：高山次長）

3 理事長あいさつ

4 議題（議長：五百旗頭理事長）

（1）審議事項

① 認証評価の受審に向けた自己点検・評価について

事務局から、資料1により、学校教育法に基づいて、認証評価機関による評価を、平成28年度に受審することとしていること。このため、平成26年度から学内で自己点検・評価に取り組む、報告書（案）をとりまとめたこと。

評定としては、基本的には「A」としているが、8社会連携・社会貢献が「S」、4-(1)教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針<総合管理学部><アドミニストレーション研究科>の項目が「B」、4-(4)成果<文学研究科>の項目が「B」、5学生の受け入れ<文学研究科><環境共生学研究科>の項目が「B」としているといった説明がなされた。

学長から追加説明として、i)社会連携・社会貢献については、教職員が一丸となってCOCやCOC+などに取り組んだ結果であること、ii)総合管理学部、アドミニストレーション研究科については、見直しの検討が遅れた部分はあるが、前向きな提案ができる見込みであり、大学院と連携した改革が進むのではないかと期待していること、iii)英語英米文学専攻博士後期課程において修了者を輩出していない件については、研究指導の面等にも課題があると見ていること。前期課程についても、収容定員に対する在学生の割合が低いという点については、なかなか難しいことではあるが、定員充足

に努めるよう研究科にはお願いをしていること、iv) 一方、環境共生学研究科においては、収容定員に対する在学生の割合が高いということだが、これについては、研究指導に当たる教員の数などについてはきちんと整備をしているということ。問題点としては、社会人向けの長期履修制度について、短期で一定のところまで到達しない人が5～6年かけてもうまくいかないという状況があり、指導する側も、時間があるために油断が出ていることも考えられる。年限を切って研究を完成させるということのも大事と考えている、といった説明がなされた。

委員から、自治体との包括協定について質問があり、学長から、現在、20の自治体等と包括協定を締結しており、代表的なものとして八代市とトマトフェスタやオール地産地消ということでピザプロジェクトといったことをやっているという説明がなされた。

また、基本的には英語英米文学については、学生が、大学院を出た後の次のステップが見えにくい。今後、ますます人気が下がっていくことも見込まれるなか、学生のニーズとの間にずれが出てきているのではないかと、といった意見が出され、学長から、学生のニーズとしては英文学の研究というより、英語運用能力というか実際に使える英語を勉強したいというものもある。本学では国際線のキャビンアテンダントになる卒業生も多い。また、就職のことを度外視しても、文学については日文も英文も一定のニーズがある。小さな大学ではあるが、そういった就職に向けたニーズにも研究者養成にも対応できるよう頑張っていきたいと考えているという説明がなされた。

その他、熊本に若い人を増やすことが地方創生には重要であり、できるだけ熊本に残るよう地元企業とのマッチングなど就職指導をして欲しいという提案が出された。

理事長からは、「S」が1つということだが、科研費の申請状況であるとか、COCであるとか、管理栄養士合格率、英語合宿の取組みなど良き努力をしていることを積極的に発信していくことが大事であるとの意見があり、学長から、9-(2)財務の所については、外部資金、競争的資金が上がってくるころなので、ここは「S」に近いとも考えられるので、検討したいとの話があった。

② 教員採用に係る枠取り（食健康科学分野）について

学長から、資料2に基づき、食健康科学分野における1人の教員採用に係る枠取りについて説明があった。

審議の結果、案のとおり承認。

(2) 報告事項

① 副学長の選考について

学長から資料3に基づき、津曲隆副学長の再任を報告。

② 総合管理学部の新教育課程について

事務局から資料4に基づき、総合管理学部のあり方検討委員会で検討している新教育課程（案）について、報告。

5 その他

- 理事長から、経営会議の委員については来年3月末で現在の任期が終了するが、閑委員については、紫苑会役員改選があるということで、次の方に委員就任を依頼するという事、石原委員、丸本委員については、引き続き委員を務めていただきたい旨の話があった。

閑委員からはそれで良い旨の了解をいただき、石原委員、丸本委員からは次期についても委員就任の了解をいただいた。

- 次回経営会議は、平成28年3月16日（水）14：30開始予定であることを確認した。

6 閉会

以上